

① 北アメリカ大陸編(アラスカ編) 1

1	雪山の中に氷河湖		ジュノーの近くの山中に氷河の末端と青く輝く氷河湖が見えた。眼下の周囲を見ると、このような氷河湖が幾つも見える。	アラスカ
2	ジュノーの氷河湖		眼下に広々とした氷河湖が見えてきた。写真手前の山には僅かに残雪が山頂にあり、山麓近くには新緑。写真の奥に行くに従って雪に覆われていて、雲一つない空によく映えて見える。	
3	街の近くの氷河の末端部		アラスカ州の首都ジュノーの街外にいくと、メンデル氷河の末端部が見える。観光客がヘリで上空から観光するコースもあり、また、末端部の手前に見えるのが市街だ。	
4	青く輝く氷河		氷河は急激に後退している。氷河の手前に森林と湖面に船が見えるが、数十年以前には、この周辺は氷河に覆われていた。	
5	氷河とお花畑		グレイシャーベイの末端部と高山植物が対称的な色合いである。今年のアラスカは異常な温暖で花の背丈が伸びているという。	
6	アラスカの氷河		プリンス・ウイリアム湾の氷河は温暖化によって年々後退のスピードが速くなり、岩壁からは水になって湾内に流れ落ちている。	
7	ブルックス山脈遠望		機上から北極圏に横たわるブルックスを遠望。山麓は延々と続く永久凍土地帯だが地球温暖化によって急激に溶けだしている。	
8	森林火災の中に		前方の灰色の部分は森林火災の跡、近くを横切っているラインは石油のパイプ、手前の道路工事は永久凍土の補修のため。環境破壊の一例。	
9	石油パイプライン		アラスカを横断するパイプラインは温暖化によって地盤の不安定な土地にも耐えられるように日本の技術で作られている。	

10	アラスカの景観		八月の末のこの地は紅葉が始まっている。樹木の背たけも太さも貧弱である。道路以外のツンドラ地帯に入ると泥で足をとられる。
----	---------	---	---

① 北アメリカ大陸編(アラスカ編) 2

11	ゴミ捨て場のクマ		悠々と餌を探している。島のゴミは分別なしで野焼き、ジュノーの街では鉄の箱で蓋には鍵がかけられている。クマが発見されると射殺される。	アラスカ
12	二頭のクマ		ゴミ捨て場に必ず餌を求める若いクマがいる。本来、クマは雑食で木の実や遡上する鮭などだが、ゴミから餌を求める姿は些か問題だ。	
13	アラスカのラッコ		プリンス・ウイリヤム湾は一時期タンカーの油によって汚染され、分厚い毛だけで保温されているラッコは危機に瀕した。	
14	船の近くを行くクジラ		クジラの巨体が突然現れた。クジラには300メートル以内に近寄ることは禁止されているが、クジラから寄ってくるから仕方がない。	
15	オーロラを見る		フェアバンクス周辺はオーロラを観察することが年間の確率の高い地域で、特にチェナは有名。深夜12時～3時頃が見ごろだ。	